民報
あばしり
NO.1333
9月19日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三-四四五八
F 四三-四四五七

9月議会　村椿議員の一般質問

このままでいくと埋立処分場　あと5、6年

タブレットを使う村椿議員

問　15年間使う計画の埋立地はあと何年使えるのか。

答　あと5、6年ほどだが、破袋機の増設で、6割以上が処理可能となり、8年ほどと見込んでいる。

問　5、6年というのは驚きだ。その後の計画は。

答　これから行う広域化の検討と同時に処分場のあり方を検証する。

生ごみについて

答　厳冬期は完全に凍らないよう当日の朝に出してほしい。

違反ごみについて

答　月6400個の違反ゴミは違反シールを貼り、出し直しをお願いし、一定の期間を置いた後に収集。分別せずに埋め立てている。

問　違反ごみを分別する人員の配置はできないのか。

答　配置は考えていない。市民に分別の徹底をお願いする。

災害時に給食調理場を

問　食料はスーパーなどの協力事業者から供給するというが、交通が遮断された場合、郊外では食料を現地で調達し、食べ物を提供できるように、給食調理場を活用すべきでは。

答　自宅での非常食と避難所の非常食を基本とし、給食調理場は子ども達に給食を提供することを第一に考える。また、衛生面などで一般に使用することは難しい。調理室を利用する考えである。

引きこもりについて

問　引きこもりの人数や対策は？

答　生活サポートセンターなどへの相談と生活保護受給者と併せて32名。支援員が相談者の経済状況や身体状況に応じて対応している。

問　相談者からの連絡待ちだけでなく、市から連絡をして様子を聞くなどしてはどうなのか。

答　対応は難しいため、ケースの応じて丁寧な対応をしていく。

松浦さとし奮戦メモ！

野党4党による基本政策が8日に合意。憲法・平和では、安保法制、秘密保護法、共謀罪法など廃止する。核兵器禁止条約の批准、沖縄の辺野古での新基地建設中止。コロナ対策では医療費削減政策を転換し医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。コロナ禍で倒産や失業などの打撃を受けた人や企業を救う財政支援。格差・貧困では、消費税減税を行い、富裕層への負担を強化する。環境では、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求。ジェンダー平等では、選択制夫婦別性制度やLGBT平等法などを成立させ、性暴力根絶に向け法整備。議員の男女同数化を推進。権力私物化では、森友、加計問題、桜を見る会疑惑など、権力私物化の疑惑を真相解明する。日本科学者会議の会員を同会議の推薦通り任命するの6つの柱20項目の内容です。

総選挙に向けて野党政権を一致点で共同し、政治を変えることができる展望ができた歴史的な出来事です。自公政権を倒しましょう。

村ちゃんが駆ける

14日、一般質問が終わり、少しだけ、ホッとしています。今回の給食のことは他の2人の議員が、ゴミ処分場は1人の議員と重複しました。それだけ、重要な問題だと認識をしましたが、教育委員会も網走市も満足な回答を出しませんでした。

給食調理場の集約化は、3月議会で一旦ストップとなったのですから、市は市民と関係者としっかり議論して、方向性を再検討すべきです。働きやすい職場をいかにつくるか。調理員の仕事は時間までに作り上げなくてはいけないことや、衛生の注意などプレッシャーが大きく、慣れるまで時間がかかります。十分な研修期間をつくり、仕事を覚える時間をとる事も募集案内に入れることも必要ではないでしょうか。

今回から議会はタブレットを導入し、議案や資料などの紙媒体を無くす取り組みを始めました。検索ができて資料を探しやすく、手書き入力ができ、大変便利です。

流氷

Eテレの100分de名著で、上野 千鶴子（社会学者、東京大学名著教授）さんがボーヴォワールの「老い」を語っていました。老いてなにが悪い！。自分と同じような年齢の人達がその時々でどういうことを考えたかに大きな関心事ではありませんか。人生100年時代といい。50歳は老いの入り口としたら半分は老いを感じながら生きるをことになります。▼日本では昔から「歯・眼・マラ」に老いの兆候が表れてきます。女性には閉経という節目があります。若い時は良く眠れたが今は薬がないと熟睡ができないこれも老い、徹夜もできなくなったり、これが生理的老い。社会的老いは定年でしょう。アメリカの社会学者が定年は社会的な死と言っても過言ではないと言ってます。しかし、被雇用者に限った話で、自営業者や農林漁業者はゆるやかに進行すると。文化的老いは「おじいちゃん・おばあちゃん」と呼ばれるようになる。江戸時代は隠居するということ。心理的老いはもっとも遅れて、心のほうはいつまでも年をとれない。そのため自分に対する認識のズレが生じるのです。▼高齢者の否定的アイデンティティは、実は差別意識とも関係しています。「加齢という現象は、すべての人が中途障害になることだ」ところが障がい者と高齢者福祉の関係の間には高い壁がある。訪問先で障がい者の介護をしている90歳を過ぎた母親が、まだ、介護など受けずお国の世話になることなく生活しているというが、私が居なくなったら困ると不安をあかしてくれた。これが本音ではないでしょうか。深い問題です。怯むことなく堂々と老いさらばえよ！

続く!!　すみっこ